

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
2018（平成30）年度定時社員総会 議事録

- 開催日時：2018（平成30）年8月30日（木） 12:45～13:18
- 場 所：厚木市文化会館 1階 小ホール（第33回リハ工学カンファレンス会場 第1会場）
（神奈川県厚木市恩名 1-9-20）
- 社員総数 84名（議決権は、各1個）
出席社員数 70名（出席34名（内役員12名）、議決権行使書提出者数20、委任状提出者数16（議長15、川村慶1））
※オブザーバー（協会正会員および学生会員）出席者数11名

出席理事（社員） 沖川悦三（会長（代表理事））、金井謙介（副会長）
石濱裕規、江原喜人、桂律也、剣持悟、杉本昌子、中村俊哉
麴澤孝、山形茂生
出席監事（社員） 相川孝訓、赤澤康史
出席理事 水澤二郎（副会長）、岡野善記、鈴木太
書記 深野栄子（協会事務局）

議決権行使書 20名

委任状：16（議長15、川村慶1）名

欠席理事 なし

欠席監事 なし

議事録署名人

岩崎満男（株式会社ファースト・ウェルフェア）

糟谷佐紀（神戸学院大学）

4. 審議事項

- | | | |
|-------|--------------------|-------------|
| 第1号議案 | 2017年度事業報告（案） | 【資料1】 |
| 第2号議案 | 2017年度決算報告（案）／監査報告 | 【資料2】 【資料3】 |
| 第3号議案 | 補欠役員候補者の選出 | 【資料4】 |
| 第4号議案 | 2018年度事業計画（案） | 【資料5】 |
| 第5号議案 | 2018年度収支予算計画（案） | 【資料6】 |
| 第6号議案 | 年会費の値上げ | 【資料7】 |

5. 社員総会資料

- | | | |
|-----|-----------------------|---------------|
| 資料1 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2017年度事業報告（案） |
| 資料2 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2017年度決算報告（案） |
| 資料3 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2017年度監査報告 |
| 資料4 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 補欠役員候補者の選出 |
| 資料5 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2018年度事業計画（案） |
| 資料6 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 2018年度予算計画（案） |
| 資料7 | 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 | 年会費の値上げ |

6. 議事の経過の概要及び議決の結果

総務統括担当の水澤理事より、本日の社員総会は定款第28条、29条により定数を満たしたので、有効に成立した旨（社員総会規則第2条第1項により、社員総会を招集した2018年8月1日時点での、社員数は84名。総会会場の参加者34名、議決権行使書による参加者20名、有効な委任状による参加者16名、合計70名）を告げたのち、沖川会長が定款第27条の規定に基づき議長に就任し（定款第28条第4項 議長は、社員として表決に加わることはできない。）、開会の辞を述べた。

定款第31条第2項「議長及び出席した社員の中から選任された2名の議事録署名人は、前項の議事録に署名又は記名押印する。」より、出席の代議員より議事録署名人2名を選出した。

審議は密接に関係する内容の第1号議案と第2号議案、第4号議案と第5号議案は一括説明とし、議案ごとに個別に決議することとした。

定款28条第1項

「社員総会の決議は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除き、社員総数の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の裁決するところによる。」

同条第2項

「前項の規定にかかわらず、次の決議は、社員総数の半数以上であって、社員総数の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。」

定款第29条第1項

「社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法により表決し、又は他の社員を代理人として表決を委任することができる。」

同条第2項

「前項の場合における前2条の規定の適用については、その社員は出席したものとみなす。」

第1号議案 2017年度事業報告に関する事項

議長より社員総会資料1に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 69 票（出席代議員 33 票（議長除く）、議決権行使書 20 票、議長への委任状 15 票、出席代議員への委任の数 1 票）、非承認 0、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】1ページ目 本文12行目「支部体制を整備し、6支部として新たにスタートしました。」→「支部体制を整備し、全国6支部として新たにスタートしました。」「全国」の文字を追加願いたい。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】1ページ目 本文13行目「JRAT 各種委員会へ委員を派遣しました。」→「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT) 各種委員会へ委員を派遣しました。」冒頭なので正式名称を追加願いたい。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】1ページ目 本文14行目「広報活動としてはH.C.R. 2017、P.P.C. 2017、」→「広報活動としてはH.C.R. 2017、西日本国際福祉機器展(P.P.C. 2017)、」冒頭なので正式名称を追加願いたい。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】2ページ目 本文8行目「2）第33回リハ工学カンファレンスの開催準備」→「2）第33回リハ工学カンファレンス in あつぎの開催準備」 1ページ目に1）第32回リハ工学カンファレンス in 神戸開催とあるので、表記の統一をお願いしたい。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】2ページ目 本文14行目「3）第34回リハ工学カンファレンス開催準備」→「3）第34回リハ工学カンファレンス in 札幌開催準備」1ページ目に1）第32回リハ工学カンファレンス in 神戸開催とあるので、表記の統一をお願いしたい。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】3ページ目 本文21行目「・2006. Vol14以降の投稿記事を…」→「・2006. Vol. 21 No. 4以降の投稿記事を…」 内容から、誤りと思われるので、修正をお願いしたい。

■回答：上記について修正する。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】6ページ目 本文18-19行目「RESKO カンファレンス」→「韓国リハビリテーション工学協会(RESKO)カンファレンス」冒頭なので正式名称を追加願いたい。

■回答：正式名称はRESKO カンファレンスのようで、強いて言うなら RESKO Conference である。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料1】2ページ目 本文1行目「・i-CREATE2017 と同時開催で、」とありますが、第32回リハ工学カンファ

レンス in 神戸の参加者数だけではわからないので、同時開催による相乗効果があったかどうか具体的に説明をお願いしたい。

■回答：i-CRETe2017 参加者 300 名、合同企画の開催、タイ王女の御来場によるメディア掲載、などが挙げられる。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】2 ページ目 本文 20 行目「・応募件数：機器開発部門 28 件、学生部門 25 件」とあるが、一次通過作品の件数はそれぞれ何件か？なお昨年の総会時に一次通過作品の件数も追加情報で総会資料に載せていただいたはずであるが、改めて総会資料全体のフォーマットを統一して、初めて総会に参加する会員への配慮として、件数もきちんと記載していただきたい。

■回答：一次選考通過作品 機器開発部門 10 件、学生部門 9 件であった。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】2 ページ目 本文 22 行目「於：横浜市福祉機器支援センター 中山福祉機器支援センター」とあるが、福祉機器コンテスト 2017 の第 1 次選考会は 2017 年 7 月 8 日（土）に 2 か所で開催したのか？その理由は？それから「横浜市福祉機器支援センター」は、横浜市泥亀福祉機器支援センターのことと解釈してよろしいか？お教えいただきたい。

■回答：横浜市福祉機器支援センターという組織の中の中山福祉機器支援センターである。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】2 ページ目 本文 31 行目「福祉機器コンテスト結果報告書を作成し、関係団体に配布をした。」とある。この関係団体とは、どこか、例えば協賛・後援団体なのか？具体的にどんな団体か、配布手段は何かをお教えいただきたい。これに関連して、14 ページの【資料 2】2017 年度 予算比較決算書のコード 686 通信費（郵送料）の執行率 174.5%とあり、配布手段が関係団体への郵送で経費を圧迫したのか？説明をお願いしたい。

■回答：協賛・後援団体である。福祉機器コンテスト内の予算で対応しているので協会の経費の圧迫にはなっていない。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】2 ページ目 本文 41 行目「福祉機器コンテスト 2018 選考委員会の設置（2018 年 4 月 1 日～）」→ 選考委員会の期限、終了はいつか？選考委員へは委嘱状で期限を明記するはずなので、お教えいただきたい。また総会資料へはこの期限の明記をお願いしたい。

■回答：委嘱期限は「2019 年 2 月 28 日」である。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】3 ページ目 本文 16-17 行目「Web 編集委員会の試験開催も行った。」とあるが、どのようなものなのか、補足説明を具体的にお願いしたい。

■回答：現状としては、Google Hangout を用いた試験実施を行った段階である。旅費削減に資する開催は 2018 年度からの見直しになる。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】6 ページ目 本文 18-19 行目「RESKO カンファレンスに国際医療福祉大学の中村美緒氏を推薦し発表していただいた。」とあるが、日本リハビリテーション工学協会が旅費・参加費を拠出したのかどうかをお聞きしたい。拠出したのであれば、14 ページ【資料 2】の 2017 年度 予算比較決算書のどこの項目から具体的な額はいくらかをお教えいただきたい。

■回答：RESKO からの招待ということで、参加費、旅費（航空券）、宿泊費すべて RESKO が負担した。

◆質問・意見（敬称略）

田中芳則：【資料 1】7 ページ目 本文 6 行目「・経費についてより立体的に具体的に見える化を行った。」とあるが、どうということかわからないので、【資料 2】第 2 号議案 2017 年決算報告（案）／監査報告でお示し、説明をお願いしたい。

■回答：今年までは「誰が」か「どのように」しか費用を仕分けしていなかったが、井村様からもご指摘があったように「誰が」と「どのように」が分かるようにし、部門別、形態別で仕分けをする事で経費をより具体的に分析して改善計画を立てやすくする。今年度より仕分けを実施する。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第 2 号議案 2017 年度決算報告（案）／監査報告

議長より社員総会資料 2 に基づき、監事より資料 3 に基づきその説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 69 票（出席代議員 33 票（議長除く）、議決権行使書 20 票、議長への委任状 15 票、出席代議員への委任の数 1 票）、非承認 0、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等（敬称略）

田中芳則：【資料2】14 ページ目 (1) 「2017 年度 予算比較決算書」のコード 650 専門委員会経費が執行率 40.7%だったが、この経費の内訳および、4 割しか支出しなかった理由をお教えいただきたい。またこの経費の中に JRAT 年会費が含まれるのか、具体的な額(昨年度の総会では 42,000 円と聞いたが、団体の規模で異なるはず)もお教えいただきたい。

■回答：JRAT の拠出金は 42,000 円で、専門委員会経費に含まれている。熊本での活動に九州の会員中心に協力していただいた結果、支出が抑えられた。

◆質問・意見等（敬称略）

田中芳則：【資料2】14 ページ目 (2) 「2017 年度 予算比較決算書」のコード 1708 役員選挙経費が当初予算 30,000 円から 262,438 円と大幅に超過した理由を具体的にお教えいただきたい。

■回答：選挙経費の執行時期が「～2017 年 6 月末まで」と「2017 年 7 月～」と年度をまたいでいた。2016 年度予算は「～2017 年 6 月末まで」に大部分の経費を執行すると考え「30 万円」の予算を組み、次年度「2017 年 7 月～」は少しの経費で足りると考え 3 万円の予算とした。ところが、現実的にはかなりの経費執行が「2017 年 7 月～」にずれ込んでしまった。実態としては、「～2017 年 6 月末まで」が 141,960 円の予算執行、「2017 年 7 月～」が 120,478 円で、合計 262,438 円となる。昨年度の決算書では仮払い計上し、141,960 円については 2017 年度執行分として処理した。担当理事の予算実行時期の「勘違い」が原因であり深く反省するところである。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第 3 号議案 補欠役員候補者の選出

議長より社員総会資料 4 のとおり、「役員候補者選出に関する規則 第 3 条第 4 項」により、新役員承認について審議を行った。

本選出に対する立候補者は以下の通りである。この社員総会終了後、就任することとなる。

◆理事候補（敬称略）

・二瓶 美里（東京大学大学院） ※出席(代議員)

選挙管理委員会にて議決権行使書の承認数が報告され、満場一致で承認された。

■承認 59 票（出席代議員 24 票(議長除く)、議決権行使書 20 票、議長への委任状 15 票、非承認 6、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等（敬称略）

田中芳則：【資料4】16 ページ目 本文 2 行目 タイトルに「第 3 号議案 補欠役員候補者の選出」に（案）が付いていない。これは強制的に議案を通すということか？納得できないので、説明をお願いしたい。

■回答：「議案」は議決する対象の案であり、議決で承認されれば議案が認められることになるわけで、強制的に議案を通すような性質のものではない。例えば「補欠役員候補の選出」議案は補欠候補を選出するかどうかを議決していただく。会費値上げも同様である。計画・報告・予算・決算については、これらの文書の（案）を承認するかどうかは議案であるので、議案に（案）がついているのではなく、文書に（案）がついている。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第 4 号議案 2018 年度事業計画（案）

議長より社員総会資料 5 に基づき、その説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 68 票（出席代議員 33 票(議長除く)、議決権行使書 19 票、議長への委任状 15 票、出席代議員への委任の数 1 票）、非承認 1 票（出席代議員 0 票、議決権行使書 1 票）、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等（敬称略）

田中芳則：【資料5】23 ページ目 3. 後援・協賛事業の表について、No.6 の項目の協賛にアンダーラインがある。これは【資料1】5. 後援・協賛事業と同じように「下線は新規事業」ということか？そうであれば表下部へ説明を追加願いたい。

■回答：「下線は新規事業」が抜けていたので追記修正する。

◆質問・意見等（敬称略）

田中芳則：【資料5】18 ページ目 本文4行目「3）第35回リハ工学カンファレンス準備」とあるが、いくつか候補地の選定など具体的に分かっていることがあれば、可能な範囲で説明をお願いしたい。

■回答：「第35回リハ工学カンファレンス準備は、10年以上開催がない中部支部での開催が望ましいと考えている。北陸地方に打診したが調整がつかなかったため、今は愛知県での開催が現実的だと考えている。是非とも皆様の御協力をお願いしたい。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

第5号議案 2018年度予算計画（案）

議長より社員総会資料6に基づき説明がなされた。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認68票（出席代議員33票（議長除く）、議決権行使書19票、議長への委任状15票、出席代議員への委任の数1票）、非承認1票（出席代議員0票、議決権行使書1票）、棄権0

◆質問・意見等（敬称略）

なし

第6号議案 年会費の値上げ

議長より社員総会資料7に基づき説明がなされた。

協会の健全な財政と継続的な運営並びに事業の確保充実のために協会年会費の改定（入会金は現行通り）を2017年度第6回理事会（2018年6月17日開催）において下記の通り決議した。

ついては、定款施行細則第44条第2項に基づき、ご承認の決議をお願いしたい。

1. 正会員の年会費を現行の8,000円から10,000円とする。賛助会員と学生会員は現行据置とする。
2. 施行は2019年度分からとする。

○改訂の根拠

協会事業を進めるための財源不足が慢性的になってきていることに対し、その見直しと諸経費節減に努めてきた一方、講習会等の諸収入の拡大化、会費の収納率向上の対策にも努め一定の成果を上げ始めているところもあるが、収入はなお財政需要を満たすまでに至っていない。

これに加えて、国際連携の拡充が必要な情勢やJRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）など災害対策活動の充実など、既存事業の拡大と新規事業の創出の必要性およびこれに伴う経費の増大、また、消費税の増税、輸送費の値上げ等の経費増の外的要因の影響も免れない状況である。

今後の事業活動を通じた当法人の目的を推進、達成させるためには、その財源を充実させると共に財政基盤の安定化を図ることが必要である。

○改訂の根拠の補足説明

今回2,000円の値上げを提案しているが、事前のご意見・ご質問で、会費値上げ2,000円の根拠についての説明の要望があったので補足説明させていただきます。

この値上げの根拠としては総会資料に記載させていただいたが、この説明では2,000円の値上げの具体的な説明になっていなかった。

2018年度の事業方針は第4号議案のとおりで、基本的に計画にあげた事業を縮小する方向ではなく、経費節減しながら今後の事業活動を通じた当法人の目的を推進、達成させることである。これは理事会全体の総意である。

その上で現状を見ると、2012年度に赤字に転じてから6年で平均1,087,186円の赤字になる。それを2017年度末会員数759で割ると一人1,432円分である。

経費節減として具体的な項目を全て挙げるのは大変であるが、主には、

- 1) 協会誌編集委員会の方法を検討し、節減につなげる。
 - 2) 協会誌のページ数を削減する。
 - 3) 広報活動としての福祉機器展への出展もHCR以外は可能な限り支部での対応を進めるようにする。
- 等を進めているが、節減努力しても未知数であり、将来活動のための資金を確保するために収益事業として有料セミ

ナーを実現させたいと考えている。

これらのことより、年間 150 万円の増収を見込んで、 $1,500,000 \div 759 = 1,960$ 円で、今回 2,000 円の値上げとすることに決めた。

【参考】

定款施行細則第 44 条

(略)

2 前項の規定に関わらず、第 34 条（会費）、第 40 条（報酬）及び第 42 条（基本財産）の変更にあたっては、定款第 12 条、第 39 条および第 58 条第 2 項の規定に従い、理事会の承認の後、社員総会の承認を必要とする。

議長は、その可否を諮ったところ、満場一致で承認された。

■承認 64 票（出席代議員 32 票（議長除く）、議決権行使書 16 票、議長への委任状 15 票、出席代議員への委任の数 1 票）、非承認 5 票（出席代議員 1 票、議決権行使書 4 票）、棄権 0

【事前に提出していただいた、本件に関わるご意見・ご質問に対する回答】

◆質問・意見等（敬称略）

田中芳則：【資料 7】25 ページ目 本文 2 行目 タイトルに「第 6 号議案 年会費の値上げ」に（案）が付いていない。これは強制的に議案を通すということか？納得できないので説明をお願いしたい。

■回答：第 3 号議案への回答参照

◆質問・意見等（敬称略）

田中芳則：【資料 7】25 ページ目 本文 7 行目「1. 正会員の年会費を現行の 8,000 円から 10,000 円とする。」とあるが、なぜ 2,000 円分増額するのか、具体的な説明をお願いしたい。正会員の年会費を 2,000 円あげても約 152 万円の会費収入が増え、単なる赤字補てんのための値上げであり、根本の解決にはならないと田中は思う。今後は赤字になれば年会費を値上げすればいいとの安易な考えではないのか。理事の皆さんの考え、理事長の考えをお聞かせ願いたい。

■回答：補足説明（上記）として回答する。

【会場からの質問・意見等（敬称略）】

なし

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2018（平成 30）年度定時社員総会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（13 時 18 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に記名・押印する。

2018 年 8 月 30 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2018（平成 30）年度定時社員総会

議 長 沖川 悦三 ㊟

議事録署名人 岩崎 満男 ㊟

議事録署名人 糟谷 佐紀 ㊟